

旧赤峰市民広場産業用地化の進捗状況説明会 議事概要

1 日時

令和7年1月24日（金曜日）午後7時～

2 場所

河内長野市市民交流センター・キックス イベントホール

3 対象

河内長野市全市民

4 参加者数

15人

5 議事の概要

○事業説明

- ・旧赤峰市民広場産業用地化の進捗状況報告（産業観光課）
- ・赤峰産業用地造成工事について（ホクシン建設株式会社）

○質疑応答

（参加者からの意見と市の回答）※内容別に記載。

【検討方針・事業全般に関する内容】

- ・立地企業は5社とも製造業であるが何か理由があるのか。また、市として第一次産業を支援する取り組みは行っているのか。

（回答）

新たな雇用や償却資産による多くの税収が見込める製造業を中心に立地企業を公募した。

本市は、製造業を問わず市内の中小企業・小規模企業を支援するため、「河内長野市中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定しているほか、オープンカンパニー事業により、第一次産業を含めた市内の多様な産業を盛り上げる取り組みを行っている。

- ・前回の説明会までは実施していた、スポーツ施設再編計画と新学校給食センター整備の事業説明がなく残念である。本年度中に双方の内容を含む説明会を開催してほしい。

- ・今後事業の進捗に応じて説明会を実施することだが、次回開催時期は決まっているのか。

（回答）

産業用地事業以外の事業については個別にお問合せいただくことになるが、説明会開催のご要望があったことは内部で共有し、調整する。

また、造成工事開始後しばらくは事業に大きな動きはなく、次回開催時期は未定であるが、様々なご意見やご要望をいただきながら、適切な時期に実施したい。

- ・ 赤峰産業用地事業は、小山田西地区及び堺アクセス道路の整備と直接的な関係があるのか。

(回答)

直接的な関係はないが、これらの開発エリアは、市として「活力創造ゾーン」と位置付けており、赤峰産業用地への企業誘致を起爆剤として、小山田西地区及び堺アクセス道路の整備に向け、大阪府と連携し推進していく。

- ・ 立地企業5社への土地売却額は。

(回答)

5社合計で、25億3,900万円となっている。

- ・ 立地企業5社の雇用計画及び税収はどの程度を見込んでいるのか。

(回答)

雇用効果は、現時点での事業計画から算出したものになるが、合計約200人。立地企業による税収について、土地及び建物から試算した固定資産税額の想定は、年間約6,500万円となっている。

- ・ 立地企業移転後の既存工場跡地の活用は。

(回答)

河内長野市商工会と連携を密にとり、土地活用に係る事業者の需要動向を把握しながら事業者同士のマッチングに努める。

- ・ 第3駐車場の活用方針は決まっているのか。

(回答)

第3駐車場は事業区域外であるので、産業用地事業による整備は行わないが、引き続き市として活用方法を検討していく。

- ・ 赤峰市民広場は市政30周年を記念して整備された伝統ある公園であり、豊かな緑を有していた。立地する企業にはそれを理解してもらったうえで、周辺環境への配慮をしてもらいたい。

(回答)

本事業は立地企業とともに推進していくものであり、引き続き市の想いを伝えていく中で、赤峰市民広場の背景も理解してもらおう。

【産業用地の整備計画に関する内容】

- ・ 産業用地の雨水排水ルートはどうなっているのか。西側排水路の先には水田があり、立地する工場からはがれたメッキ等によって雨水が汚染されるようなことにならないか心配である。

(回答)

旧第2駐車場側は従来通り、既存の側溝に排水する。グラウンド側は、全ての用地の雨水を一か所に集め、まずは西側ルートへ排水し、一定量を超える場合は東側ルートに排水する。それ以上にオーバーする分は、公園地下埋設式の調整池に貯留することで排水量を調整する。

また、各立地企業には、油水分離柵の設置等にご協力いただくなど、雨水汚染を発生させない取組みを行う。

- ・ グラウンド側に歩道を整備する計画はあるのか。遊歩道へはどのようにアクセスするのか。

(回答)

グラウンド側の歩道は、現給食センター付近から新設交差点まで設置し、交差点からは産業用地内の遊歩道に接続する。遊歩道へのアクセスは、新設交差点からか、第3駐車場横の里道から公園を経由することになる。

- ・ 新設交差点に信号や横断歩道は設置しないのか。カーブもきつく危険ではないのか。

(回答)

新設交差点は、既存の信号と近接していることもあり、新たな信号は付けられないという警察の指導がある。右折レーンの設置や、用地から市道に出場する際の一時停止標識などにより、歩行者の安全対策を行う。

- ・ 用地内に整備する公園は具体的にどのような整備計画になっているのか。

- ・ 第3駐車場横から公園へアクセスする里道は非常に歩きづらいため、整備してほしい。

(回答)

公園は工場敷地から約1メートル低い位置に平坦に整地する。多目的広場としての位置付けがあるため、様々な用途で活用してもらいたいと考えている。また、里道部分は雨水が路面を走って滑りやすくなっているため、側溝を入れることで、雨水が路面を走らないようにする。

- ・ 現計画では見受けられない駐輪場所や健康遊具、トイレの整備、ウォーキングやランニングがしやすい遊歩道の仕様等、こういった意見を反映してもらおう機会はあるのか。

(回答)

ワークショップ等で意見交換する場は想定していないが、本日の説明会や個別のお問合せでいただいた意見を踏まえて計画検討していきたい。

【赤峰産業用地造成工事に関する内容】

- ・ 工事の振動、騒音対策はどのように行うのか。

(回答)

振動、騒音は、低騒音型重機を使用することで対策を行う。また、建物を壊す解体工事では振動等が発生することがあるが、今回の造成工事では取壊しの工程はほんの一部である。

- ・ 市道の4か月間の片側交通規制はどの時期に行うのか。

(回答)

令和8年2月から5月を予定している。その間ずっと交通規制するわけではなく、工種によっては規制が必要ないものもあるので、都度規制を解除する。

- 土砂搬出に伴う防塵対策はどのように行うのか。

(回答)

工事用車両の出入口には、車両のタイヤを洗う洗車機を設置し、なるべく道路を汚さないように努める。

【その他】

- 寺ヶ池公園リニューアル計画では、野外ステージの機能は含まれているのか。
- 寺ヶ池公園に、幅広い年代が集まれるスケボーパークを整備してほしい。

(回答)

今後、ワークショップ等で市民の皆様の意見を聞きながら具体的な検討を進めていく予定である。